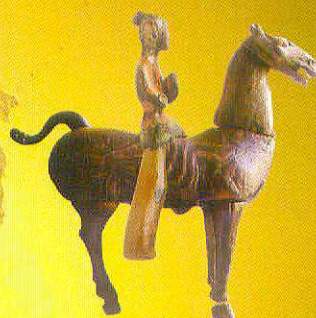


九州国立博物館国際シンポジウム

# 東アジア文化財 保存サミット



2006.9.30 [土]

10:00~16:00

会場:九州国立博物館 ミュージアムホール

第1部

東アジアの文化財を守る

第2部

東アジアの彩色文化財を科学する

入場  
無料

逐次通訳付

保存修復  
施設の見学

(先着80名)

主催:九州国立博物館

後援:文化財保存修復学会、日本文化財科学会、

福岡県教育委員会、(財)九州国立博物館振興財団



九州国立博物館

<http://www.kyuhaku.com/pr/>

# 東アジア文化財 保存サミット

## ■シンポジウムの開催にあたって

九州国立博物館は「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」という新しい視点をもって昨年にスタートしました。今後、アジアにおいて日本が果たすべき役割は以前にも増して大きなものになることが予想されます。九州国立博物館ではアジア諸国と連携協力した多彩な活動を展開しながら相互理解と文化交流を促進する拠点としての役割を担っていきたくと考えております。

今回、中国・韓国・日本などの東アジア地域で文化財保存のために活動している学会の中心人物が集まる機会が実現しました。シンポジウムでは学会のトップが各国の文化財保存の歴史と現状を分かり易く語ります。このシンポジウムを通じて、人類共通の遺産である文化財の保存について相互理解が深まることを期待いたします。

日 時 2006年9月30日(土) 10:00～16:00

会 場 九州国立博物館 ミュージアムホール

入場料 無 料(事前申込の必要はありません。)



■鉄道 西鉄利用  
福岡(天神)駅から  
二日市駅で太宰府線に  
乗り換え、  
太宰府駅下車(20分)、  
徒歩(10分)

■鉄道 JR利用  
博多駅から鹿児島本線で  
二日市駅下車(15分)、  
タクシー(15分)

■バス 西鉄バス利用  
JR二日市駅から  
九州国立博物館前停留所  
下車(20分)徒歩(3分)  
[1時間に1本程度運行]

■自動車で  
【九州自動車道】  
太宰府ICまたは筑紫野IC  
から、高雄交差点経由で  
約20分  
【タクシー利用】  
JR二日市駅から約15分  
福岡空港から約30分



## ■プログラム

9:40～ 開 場

10:00～10:05 開会挨拶

### 第1部 東アジアの文化財を守る(逐次通訳付き)

10:05～11:05 中国三峡ダムによる開発と文物保護

馬 家郁

(四川省文物考古研究所元所長・中国文物保存学会副会長)

11:05～12:05 韓国敬天寺跡十層石塔の保存処理

姜 大一

(国立韓国伝統文化学校教授・韓国文化財保存科学会副会長)

12:05～13:15 休 憩

13:15～14:00 博物館科学・保存修復施設の見学

※ 見学を希望される方は、当日受付にて参加登録  
(先着80名)が必要です。

14:00～14:30 日本における文化財保存の歴史と展望

三輪嘉六

(九州国立博物館館長・文化財保存修復学会会長)

### 第2部 東アジアの彩色文化財を 科学する(逐次通訳付き)

14:40～16:00 沢田 正昭(国士館大学教授・日本文化財科学会会長)

陳 青(中国文物研究所文物保護科技中心センター長)

張 金萍(中国南京博物院文物保護研究所副所長)